



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西山 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 執行役員部長

(氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	42,246	0.5	2,009	10.4	2,453	22.9	1,597	21.0
28年9月期第1四半期	42,035	5.3	1,820	40.5	1,996	48.4	1,320	49.9

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 2,386百万円 (53.8%) 28年9月期第1四半期 1,551百万円 (△12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	30.87	27.02
28年9月期第1四半期	25.52	22.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	160,166	64,855	39.9	1,234.55
28年9月期	143,554	62,984	43.2	1,198.56

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 63,908百万円 28年9月期 62,037百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年9月期	—				
29年9月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,000	9.8	3,200	12.2	3,400	10.3	2,000	0.8	38.64
通期	165,000	11.0	5,700	10.3	5,700	6.7	3,200	9.1	61.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	52,462,544 株	28年9月期	52,456,229 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	696,034 株	28年9月期	695,871 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	51,762,399 株	28年9月期1Q	51,745,043 株

当第1四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式362,300株を自己株式に含めています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)におけるわが国の経済は、企業収益・雇用環境の改善が進み、景気はゆるやかな回復基調が続いています。しかしながら世界経済を見ると、新興国経済の減速や米国新政権における政策の不確実性等の影響が懸念され、今後の国内景気に対する不透明要因が潜在しています。

また、当社グループに係わる食品関連業界ではメーカーや小売業の値上げが一段落したものの、為替の円安傾向や物流コストの上昇など厳しい事業環境が続いています。

このような状況のもと当社グループは、平成26年10月にスタートさせました第五次中期経営計画「Flap The Wings 2017」(3ヵ年)が最終年度を迎え、冷蔵倉庫事業では「“COOL”ネットワークのリーディングカンパニー」を目指し、食品販売事業では「安定的な利益追求を基本としながらも、強みのある商材を全社的に展開する」ことを命題として、最終年度目標の達成に向け、事業運営方針の各施策に注力しています。

冷蔵倉庫事業は、当期初より活発な荷動きが続き計画を上回って推移していますが、在庫水準は高水準だった前期初との対比においてマイナスのスタートとなったため、保管料収入は減収となりました。食品販売事業は、前期において相場の軟化により収益が減少した畜産品が利益改善基調にあり、また、前期末から連結対象となりましたノルウェーの鮭鱒養殖事業が大きく収益を底上げしています。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高42,246百万円(前期比0.5%増)、営業利益2,009百万円(前期比10.4%増)、経常利益2,453百万円(前期比22.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,597百万円(前期比21.0%増)となりました。

## (冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間は、期初から荷動きが活発に推移し、また近年順次稼働した物流センターは着実に稼働率を向上させて収益に貢献しました。しかしながら、当期初の在庫水準が前期比で減少したことや減価償却費の増加、および閉鎖を決定した子安物流センターの収入剥落などから当セグメントは減収減益となりました。

貨物取扱量の状況は、入庫取扱量は約8千トンの増加(前期比2.2%増)、出庫取扱量は約14千トンの増加(前期比4.1%増)、平均保管在庫量は約55千トンの減少(前期比6.1%減)となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は6,684百万円(前期比0.5%減)、営業利益は1,759百万円(前期比5.4%減)となりました。

## (食品販売事業)

当第1四半期連結累計期間は、市況が改善した畜産品を始めすべてのカテゴリーで利益率が向上して増益を達成しました。

水産品は増収、大幅増益となりました。主要商材では鮭鱒類が増収増益となりました。特に新規参入したノルウェーの養殖事業が大きく利益に貢献して当カテゴリーを牽引しました。他にも、サバ、ホッケが取扱量を増加させ利益増に寄与しました。一方、減産が続いているホタテや価格が高騰したカニは減収減益となりました。

畜産品は、減収増益となりました。チキンは前期に相場下落により損失を計上しましたが、当期は取扱量を適正化し減収ながら大幅増益に転じました。ポークは強みのある商材である銘柄豚の販路拡大などにより増収増益となりました。

農産品は、減収増益となりました。主力商材の馬鈴薯、玉ねぎは前期に北海道を襲った台風被害の影響により取扱量は減少しましたが時宜を見た販売により増益に貢献しました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は35,547百万円(前期比0.7%増)、営業利益は881百万円(前期比82.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ16,612百万円増加し、160,166百万円となりました。これは主に、商品が8,101百万円、受取手形及び売掛金が6,269百万円、投資有価証券が1,705百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ14,740百万円増加し、95,311百万円となりました。これは主に借入金が増加した13,488百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,871百万円増加し、64,855百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ451百万円減少の4,748百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,729百万円の資金の減少(前年同四半期は5,492百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,453百万円、減価償却費1,095百万円及び仕入債務の増加額1,924百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額7,968百万円、売上債権の増加額6,270百万円、前渡金の増加額2,060百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,719百万円の資金の減少(前年同四半期は7,620百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出2,204百万円と投資有価証券の取得による支出614百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、12,955百万円の資金の増加(前年同四半期は12,860百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額13,503百万円による資金の増加と、配当金の支払額521百万円等の資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、「平成28年9月期 決算短信」(平成28年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,210	4,758
受取手形及び売掛金	18,107	24,377
商品	18,691	26,792
繰延税金資産	435	395
その他	6,615	7,795
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	49,055	64,111
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	36,486	36,663
機械装置及び運搬具(純額)	6,353	6,302
土地	26,407	26,513
リース資産(純額)	564	553
建設仮勘定	1,011	730
その他(純額)	769	750
有形固定資産合計	71,593	71,515
<b>無形固定資産</b>		
のれん	12,418	12,450
その他	1,764	1,780
無形固定資産合計	14,183	14,230
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	7,120	8,825
長期貸付金	719	621
その他	995	974
貸倒引当金	△112	△112
投資その他の資産合計	8,722	10,309
固定資産合計	94,499	96,055
資産合計	143,554	160,166

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,344	7,275
短期借入金	30,601	45,122
1年内返済予定の長期借入金	4,446	4,463
リース債務	74	73
未払法人税等	1,642	1,157
賞与引当金	692	135
役員賞与引当金	34	8
その他	6,023	6,180
流動負債合計	48,859	64,416
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	6,995	6,989
長期借入金	21,885	20,836
リース債務	166	166
繰延税金負債	229	641
役員報酬BIP信託引当金	91	105
退職給付に係る負債	1,431	1,469
資産除去債務	105	105
その他	805	578
固定負債合計	31,710	30,894
負債合計	80,570	95,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,068	11,071
資本剰余金	11,135	11,138
利益剰余金	39,465	40,541
自己株式	△538	△539
株主資本合計	61,130	62,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,923	2,652
繰延ヘッジ損益	△29	△272
為替換算調整勘定	△172	101
退職給付に係る調整累計額	△813	△786
その他の包括利益累計額合計	907	1,695
非支配株主持分	946	947
純資産合計	62,984	64,855
負債純資産合計	143,554	160,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	42,035	42,246
売上原価	38,296	37,726
売上総利益	3,738	4,519
販売費及び一般管理費	1,918	2,510
営業利益	1,820	2,009
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	37	42
保険配当金	36	29
受取和解金	85	—
為替差益	1	371
その他	107	98
営業外収益合計	278	560
営業外費用		
支払利息	90	105
その他	12	10
営業外費用合計	102	115
経常利益	1,996	2,453
税金等調整前四半期純利益	1,996	2,453
法人税、住民税及び事業税	275	678
法人税等調整額	395	172
法人税等合計	670	850
四半期純利益	1,326	1,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,320	1,597



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,326	1,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	541	729
繰延ヘッジ損益	19	△242
為替換算調整勘定	△343	269
退職給付に係る調整額	8	27
その他の包括利益合計	225	783
四半期包括利益	1,551	2,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,633	2,385
非支配株主に係る四半期包括利益	△82	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,996	2,453
減価償却費	1,017	1,095
のれん償却額	29	233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△532	△556
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	△25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13	66
役員報酬B I P 信託引当金の増減額 (△は減少)	14	14
受取利息及び受取配当金	△48	△60
支払利息	90	105
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,561	△6,270
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,396	△7,968
前渡金の増減額 (△は増加)	△220	△2,060
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,065	1,924
未払費用の増減額 (△は減少)	446	833
その他	△608	605
小計	△4,741	△9,607
利息及び配当金の受取額	45	63
利息の支払額	△89	△104
法人税等の支払額	△707	△1,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,492	△10,729
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,511	△2,204
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△1,038	△614
投資有価証券の売却による収入	7	—
貸付けによる支出	△156	—
貸付金の回収による収入	96	120
その他	△18	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,620	△2,719
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,581	14,528
長期借入れによる収入	7,561	—
長期借入金の返済による支出	△708	△1,025
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△521	△521
その他	△51	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,860	12,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△295	△451
現金及び現金同等物の期首残高	3,887	5,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,592	4,748

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,718	35,305	11	42,035	—	42,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	487	—	10	498	△498	—
計	7,206	35,305	22	42,534	△498	42,035
セグメント利益	1,859	483	12	2,355	△535	1,820

(注) 1.セグメント利益の調整額△535百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,684	35,547	14	42,246	—	42,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	461	—	10	472	△472	—
計	7,146	35,547	25	42,719	△472	42,246
セグメント利益	1,759	881	15	2,657	△647	2,009

(注) 1.セグメント利益の調整額△647百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。